

2022年5月23日
株式会社東陽テクニカ

「第4回 建設・測量生産性向上展（CSPI-EXPO）」に出展 ～建設・測量に関する最先端の計測ソリューションを展示～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、2022年5月25日(水)からの三日間、幕張メッセで開催される「第4回 建設・測量生産性向上展（CSPI-EXPO）」に出展いたします(ブース番号：K-26)。CSPI-EXPO は、建設業界・測量業界の次世代を担う、建機・重機・アタッチメント・建設DX・i-Construction など、業界最先端の製品・技術・サービスが一堂に会する展示会です。東陽テクニカのブースでは、建設・測量の現場で役立つ計測ソリューションとして、i-Construction 対応のマルチビーム測深機を搭載した小型の測量用ポートや 6 振動子のパラメトリック地層探査機などを中心に展示、ご紹介いたします。



CSPI-EXPO
Construction&Survey Productivity Improvement EXPO

建設・測量生産性向上展 ～次世代を担う、最先端技術が一堂に～ 2022年5月25日(水)～27日(金) 幕張メッセ 展示ホール2・3・4・5・屋外展示場

【 イベント概要 】

- 開催展名：第4回 建設・測量生産性向上展（CSPI-EXPO）
- 会期：2022年5月25日(水)～5月27日(金) 10時～17時(最終日は16時まで)
- 場所：幕張メッセ国際展示場 展示ホール2・3・4・5・屋外展示場
- ブース番号：K-26
- 公式サイト：<https://cspi-expo.com/>

【主な展示製品】

●マルチビーム搭載小型無人ボート「TriDrone2020」（米国 Seafloor Systems 社製）

港湾建設の IoT “i-Construction”対応のマルチビーム測深機を搭載した測量用無人ボートです。あらかじめ設定されたコースを自動で航走し海底地形情報を取得します。同程度の大きさの無人ボートに比べ高い波高状況でも使用できるよう、メーカーと共同開発しました



「TriDrone2020」

●6振動子 パラメトリックサブボトムプロファイラ「Innomar sixpack」（ドイツ Innomar 社製）

パラメトリック音響技術を応用した海底表層探査装置です。アレイ構成の変更が可能で6台の送受波器で狭角な地層探査用音波を水中に発射し、海底表層の3次元断面情報を取得します。



「Innomar sixpack」

●高精度2周波音響カメラ「ARIS Explorer」（米国 Sound Metrics 社製）

超音波により高分解能の水中映像撮影が可能な DIDSON 音響ビデオカメラの後継モデルです。光学カメラでは撮影困難な濁水中や夜間での使用に有効です。



「ARIS」

◆出展お知らせページ：<https://www.toyo.co.jp/kaiyo/seminar/detail/CSPI-EXPO2022>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL：03-3279-0771(代表)

Email：marketing_pr@toyo.co.jp

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。